特定非営利活動法人　雨水市民の会

平成 26 年度総会資料

平成 26 年 7 月 5 日（土）
於：すみだ環境ふれあい館

［プログラム］

研究・活動発表会	１３：３０～１５：３０
総会	１６：００～１６：３０
交流会	１７：００～１９：００

［総会議案］

第 1 号議案　平成 25 年度事業報告の件（平成 25 年 6 月 1 日～26 年 5 月 31 日）

第 2 号議案　平成 25 年度決算の件

第 3 号議案　平成 26 年度事業計画の件（平成 26 年 6 月 1 日～27 年 5 月 31 日）

第 4 号議案　平成 26 年度予算の件

第 5 号議案　役員選任の件

その他

（第１号議案）　　平成 25 年度事業報告

1. 広報活動

（１）事業の成果

Web あまみずは、会員からの投稿や編集委員による取材等により、1 年間に 32 件（内訳：イベント 8、人・市民、学術 7、行政 1、ネットワーク 2、世界の雨水 1、文化 1、技術・ビジネス 1、活動記録 11）の記事を掲載した。
ホームページのリニューアルは、福井工業大学の前川翔太さん、すみだ環境ふれあい館の上鈴木真弓さんの協力により、ほとんど経費をかけないで制作をすることができた。
過去に当会が作成した出版物は保存のために電子化した。

（２）事業の実施に関する事項

事業名 （小項目）	事　業　内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人　数
Web あまみずの管理運営	雨水活用や雨にかかわる様々な情報及び当会の活動状況をまとめて情報発信した。1 年間で 32 件の記事を掲載。	平成 25 年 6 月 ～平成 26 年 5 月	Web		
ホームページリニューアル	当会のホームページをリニューアルした。	平成 26 年 4 月	Web		
出版物の電子化	当会出版物を保存のため電子化した。	平成 26 年 4 月			

2. 啓発、環境学習活動

（１）事業の成果

①雨の環境学習
　ふれあい館のよりどりミドリプログラムの一環で、５月から始まった里いもプロジェクトの継続実施と新規に自立型緑のカーテンの紹介、雨の恵みワークショップへの支援協力を行った。
②雨　塾
　外部講師を招いて、環境学習講演会を２回実施した。
　雨水まち歩きとしては、2014.5.31 に向島編を実施した。
③雨の絵本広場
　毎月第３日曜を基本に「雨の絵本ひろば」を年間１０回開催、１月と８月は絵本の整理にあてている。
　今年度は、図書館での勤務経験のある会員の参加により、本の分類を大幅に見直し、分類ごとにシールを作成して背表紙に貼り、整理をしやすくした。
　また、絵本ひろばの運営主体をはっきりさせるため、毎回、始めに NPO 法人雨水市民の会が運営していることを説明し、市民の会の簡単な説明を行うことにした。

次頁へつづく

④雨活学習事業

平成 25 年 4 月に取得した東京ガスｽの助成金を活用して、環境学習の啓発教材の開発を行った。

ワーキンググループの議論を踏まえて、コアメンバーにより、子ども同士や親子を交えて、場所を問わずかつＯＡ機材を必要としない環境学習ツールとして「雨つぶぐるぐるすごろく」を開発した。水循環基本法と雨水利用促進法が制定され、地域や流域の水循環、雨水活用のあり方等を模索する機運が高まっていくと思われるこの好機に、学校や環境活動団体等を通じて広く周知していける教材ができたことは意義深いことと考える。

他に、夏休みＷＳ、雨の環境学習・雨塾、手づくりタンク事業等の各種事業の一部については、雨活学習事業として実施した。

⑤雨の恵みワークショップ

すみだ環境ふれあい館の夏休み期間中に、講師を招いて雨に関する体験型学習プログラム「雨の恵みワークショップ」を下記の通り 7 回実施し、のべ 261 人が参加した。

この事業は、ライオン株式会社の協賛による事業として実施し、子どもたちの自由研究の素材提供や学習機会として参加者から喜ばれた。

夏休みの恒例事業として定着し、25 年度は 6 回のプログラムが定員を超える申込となり、計 12 名のキャンセル待ちがあった。（一部に東京ガス助成金充当）

（２）事業の実施に関する事項

事業名（小項目）	事　業　内　容	実　施日　時	実　施場　所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人　　数
雨の環境学習	緑のカーテンと野菜の苗を植えよう	6/9（日）	すみだ環境ふれあい館	２人	15 人
	緑のカーテンと野菜の観察をしよう（with 雨の絵本ひろば）	7/21（日）		４人	16 人
	里いもの葉っぱの不思議を探ろう	8/11（日）		２人	12 人
	里いも収穫祭（with 雨の絵本ひろば）	10/20（日）		５人	31 人
雨 塾	「雨水活用から考える“本当のエコ”」福井工大笠井利浩准教授（東京ガス助成金充当）	2014 2/15（日）		５人	18 人
	「気象現象きほんのき～知っているようで知らない気象の話」平沼洋司気象予報士（東京ガス助成金充当）	2014 3/2（日）		２人	８人
	雨水まち歩き（向島編）	2014 5/31（日）		６人	４人
雨の絵本ひろば	雨を楽しむ雨まつり人間すごろく雨の旅	6/16（日）	すみだ環境ふれあい館	６人	１５人
	緑のカーテンと野菜の観察（よりどりミドリと合同）シャボン玉で遊ぼう	7/21（日）		５人	１６人
	絵本の整理	9/8（日）		７人	
	秋冬野菜の種まき（よりどりミドリと合同）	9/15（日）		６人	５人

次頁へつづく

雨の絵本 ひろば	里いも収穫祭 （よりどりミドリと合同）	10/20（日）	すみだ環境 ふれあい館	６人	３１人
	ふれあい館まつりに参加 絵本の表紙でカードを作り カード合わせをして遊んだ	11/9（土）		４人	７６人
	クリスマス会 朝顔やゴーヤの蔓でリース作り	12/15（日）		５人	１３人
	絵本の整理	1/13（月）		７人	
	オリジナルゲームで遊ぼう	2/16（日）		４人	１０人
	さくらコンサート バイオリン演奏　笠井玉喜	3/16（日）		５人	１３人
	新聞紙でかぶとと刀を作って チャンバラごっこしよう	4/20（日）		６人	５人
	折り紙で絵本を作ろう	5/18（日）		６人	１７人
雨活学習事業	ワーキングチーム会合	前年度後期以降～6/29他、 適宜	すみだ環境 ふれあい館、 事務局等	40 人程度	
	「雨つぶぐるぐるすごろく」と 「もっと楽しむための豆知識」 の制作 （東京ガス助成金充当）	６月～3 月		６人程度	
雨の恵み WS	「雨の恵みで草木染め」 講師：上鈴木真弓	7/28（日）	すみだ環境 ふれあい館	3 人	25 人（＋8）
	「雨と水のおもしろ実験 ＆かんたん工作」 講師：齋藤賢之輔	8/3（土）		4 人	24 人（＋16）
	「『エネルギー界のカメレオン ＝電気』の正体をさぐろう！」 講師：蝦名晋一	8/4（日）		3 人	15 人（＋17）
雨の恵み WS	「ポリバケツで 雨水タンク作り体験」	8/10（土）	すみだ環境 ふれあい館	5 人	6 人
	「レインステック作り ～雨の音をかなでよう！」 講師：小谷久美	8/17（土）		2 人	午前:21 人 （＋13） 午後：21 人 （＋17）
	「イチョウの木で バードコールを作ろう！」 講師：田之下雅之	8/25（日）		3 人	午前: 25 人 （＋8） 午後： 22 人 （＋9）
	「みなもとは雨！ 地球をめぐる水のふしぎ」 講師：笹川みちる	8/31（土）		2 人	14 人

３. 環境ふれあい館の運営

（１）事業の成果

来館者への観覧応対、展示ガイド等の実施、展示物の維持管理、利用申請室の貸し出し等、派遣スタッフによる施設の通常運営全般を行うとともに、展示や運営の改善、環境学習プログラムの導入、企画展・イベントの開催など、相変わらず予算措置の乏しい中、企画運営を推進した。（墨田区から受託事業・期間：平成25年４月～平成26年３月）

●H25年度における主な特記事項

１）「環境フェア」等のイベントには、館として、区が実施する事業に業務内で協力した。

２）緑化、植物栽培に関する年間通しての取り組み「よりどりミドリプロジェクト」

３）「ふれあい館まつり」11月 9、10日に実行委員会形式で、民間活力を投入して創意工夫により実施した。若手アーティストや食の屋台との連携等を得て、また「おもちゃのかえっこ」で新規来場者を呼び込み、のべ1,729人が参加し盛況であった。

４）企画展の制作・実施としては、平成25年3月16日から「環境建築　東京スカイツリータウン®　&　未来のすみだ　エコタウン」と題する企画展を7月14日まで開催した。後半は、関野吉晴氏の「地球の住まいinグレートジャーニー」で環境と人類の多様な暮らしの模様を紹介した。(6/13まで展示)

５）耐震補強工事に伴う館の今後のビジョンへの関与は、今だ区側の方針の全容が明らかでなく不十分な状態で推移している。

６）広報に関しては、当会の負担のもと、チラシはスタッフの尽力で年間を通して定期的に発行し、夏休み企画及びふれあい館まつりに関しては独自にカラー印刷版のイベントニュースチラシを制作・発行した。

７）館利用者数の実績・推移

本年度の館利用者数は、合計8,264人で、開館以来の通算では8万人弱の来館者数であった。視察は減少傾向にあるが、各種事業やプログラムへの参加やふれあい館まつりへの一般参加が際立った増加となった。

（２）事業の実施に関する事項

事業名 （小項目）	事　業　内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人　　数
すみだ環境 ふれあい館の 管理運営業務	来館者への観覧応対、展示ガイド等の実施、展示物の維持管理、利用申請室の貸し出し等、派遣スタッフによる施設の通常運営全般を行うとともに、展示や運営の改善、環境学習プログラムの導入、企画展・イベントの開催等。	通　年	すみだ環境 ふれあい館	のべ 930人	区内外の来館者 （実績）8,264人

4. 企画事業

（１）　事業の成果

ふれあい館の夏休みＷＳの一つとして、雨水タンクづくりワークショップの実施、すみだ環境フェアにおける雨水タンクづくりのＷＳ、すみだまつりでの自立型緑のカーテンや雨水タンクの展示紹介とクイズラリーへの参加（Q：放射性物質の溜まる場所）、さらにエコプロダクツ展への出展［雨水基地（雨水活用のしくみがわかる屋台型展示物）、レインスティック、当会の紹介］を行った。
各々興味の対象内容や度合いは異なるが、結果として大勢の参加者、来場者に雨水や雨水活用の大切さについて周知することができた。　（一部に東京ガス助成金充当）

（２）　事業の実施に関する事項

事業名 （小項目）	事　業　内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人　　数
手作りタンク事業	雨水タンクづくり ワークショップ	8/10（土）	すみだ環境 ふれあい館	5 人	10 人
イベント出展	環境フェア	6/29（土） ・30（日）	墨田区役所	6 人	476 人
	すみだまつり	10/12（土） ・13（日）	錦糸公園	6 人	815 人
	エコプロダクツ展	12/12～14 （木～土）	東京ﾋﾞｯｸﾞｻｲﾄ	10 人	約 2000 人

（第 2 号議案）　　平成 25 年度決算

収入の部

項目	決算額	内容
◎会費収入		
個人正会員　55人	396,000	55x＠6000＝330,000円　遅れ分 10x＠6000＝60,000円＋前納分（6,000円）
個人賛助会員　23件	75,000	23x＠3,000＝69,000円　遅れ分　2x＠3,000＝6,000円
団体会員　3件	90,000	@30000×3＝90000
入会金　2人	4,000	@2000×2
小計	565,000	
◎事業収入		
あまみず･ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ，広告料	50,000	ホームページ広告他　50,000円
啓発･環境学習等活動費	183,500	参加費夏休みWS 33,400円、まち歩き等 6,000 円
		ミツカン　52,500円･江戸川総合人生大学　40,000円･創造研究所〔街歩き〕 30,000円
		手作りタンク　21,600 円
環境ふれあい館委託料	5,760,000	墨田区より委託料
雨活アイデアコンテスト	629,784	監修料等
映像ﾃﾞｰﾀ、資料等売上金	9,500	写真使用料、書籍等販売収入　3000 円等
小口売上	6,500	
小計	6,639,284	
◎協賛金		
ﾗｲｵﾝ㈱　雨の恵みプロジェクト	1,000,000	
小計	1,000,000	
◎寄付金･雑収入･利息		
寄付	29,000	滝沢　10,000円 +会員　19,000円
雑収入	15,750	（区、雨どい修理）
利息	1,213	定期 622円＋預金 461円＋郵貯 21円＋広報 109円
小計	45,963	
当期収入合計	8,250,247	
◎前年度繰越金		
定期預金	1,859,053	
普通預金	2,616,718	
現金	33,172	
郵便振替口座	842,790	
広報委員会通帳	592,111	
小計	5,943,844	
収入総計	14,194,091	

支出の部

項目	決算額	内容
◎総務費		
事務局家賃	540,000	天水研究所35,000×4ヶ月　徳永　50,000x8ヶ月
事務管理費	111,645	電気代　ガス代　1,764円　ドメイン　6300円　インク等他　68,581円　コピー清算　35,000円等
通信費等	175,389	ヤマト運輸　37,860円、電話代　30,614円、プロバイダー　89,780円、他切手代 17, 135等
振込手数料	33,296	（郵便振替口座解約振込手数料等960円含む）　振込用紙代　1,100円
人件費	643,620	事務局人件費643620円
委員会運営費	1,390	啓発環境学習活動委員会 1390円
諸経費	361,908	他団体交流費等(年会費含む)　ふれあい館実行委員会　60,000円　手ぬぐい　・ｴｺﾌﾟﾛﾀﾞｸﾂ 124,008円・日本経済新聞 25,000円　雨水タンク贈呈　102,900円　交通費補助　40,000円　講師料 10,000円
小計	**1,867,248**	
◎事業費		
広報活動費	44,874	リーフレット印刷 31,280円・藤前干潟データ使用料　10,000円等　取材費　1,722円　送料　1、440円　振込み　432円
啓発･環境学習等活動費	1,574,267	雨塾 632,566円、環境学習PT 171,164円 、雨のえほん広場 71,772円、 手作り雨水タンクPT 67,945円、地域活動 30,000円 夏休みWS 545,820円、ふれあい館まつり 30,000円　里芋　25,000円
ふれあい館運営費	5,302,633	人件費（6月～4月 4,885,375円 + 5月 417,258円）
雨水ネットワーク会議直接費	10,000	
雑費	0	
小計	**6,931,774**	
支出合計	**8,799,022**	
未払い金	**▲ 877,665**	5月人件費　417,258円　啓発関係未払い分　460407回3ん
当期支出合計	**7,921,357**	
◎次年度繰越金		
定期預金	1,859,053	（平成26年6月19日　満期）
普通預金	3,643,875	みずほ銀行①3,517,297円、みずほ銀行②58,949円、郵便局ぱるる67,629円
郵便局振替口座（解約）	0	
現金	118,450	
小口現金（事務局）	47,656	
広報委員会通帳	503,700	
未収金	100,000	雨水ﾈｯﾄﾜｰｸ会議事務局運営委託 100,000円
小計	**6,272,734**	
支出総計	**14,194,091**	

監査報告

平成 25 年度の収支決算について、会計帳簿および関係書類を審査し監査を行った結果、適法かつ適正であることを認めましたので報告いたします。

平成 26 年 7 月 3 日

特定非営利活動法人雨水市民の会

監事　　佐藤　清

上林裕子

（第 3 号議案）　　平成 26 年度事業計画（案）

１．広報活動

事業名	事業内容	実施時期
雨つぶぐるぐるすごろくの制作	昨年度の東京ガス・環境おうえん基金による助成金で制作したすごろくを、水循環基本法・雨水の利用の推進に関する法律施行にちなんど大人から子供まで楽しんで理解できるグッズとして販路を広げる。	H26 年 8 月
Web あまみずによる情報発信	毎月更新する。 サイトの維持管理	毎月
ホームページの充実	すみだ雨水散歩の追加。墨田区に限らず地域の雨水散歩も記事とする（随筆風、紀行文風でも OK）	毎月
雨水活用普及のためのリーフレット等制作	①「雨水利用ガイド」（あまみずダイジェスト版）の制作 ②「雨水散歩地図」の制作	H27 年 5 月

2. 啓発、環境学習活動

事業名	事業内容	実施時期
雨の環境学習	ふれあい館の独自事業よりどりミドリプログラム、「生活と水」を知る連続講座「めぐるめぐみの水カフェ」（3NPO 連携）開催等。	
雨　塾	外部講師を招いての環境学習講演会とエコビレッジ見学会を予定。 雨水まち歩きとしては、10 月 25 日に「めぐるめぐみの水カフェ」の一環で行うものと、当会の行事として 27 年.5 月または 6 月に実施予定。	

次頁へつづく

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業内容</th><th>実施時期</th></tr>
<tr><td>雨の恵みワークショップ雨塾</td><td>すみだ環境ふれあい館の夏休み期間中に、雨水市民の会企画運営事業として体験型学習プログラム「雨の恵みワークショップ」を実施する。この事業は、ライオン株式会社からの資金提供による協働事業として実施し、すみだ環境ふれあい館スタッフの他、外部講師を招聘して雨・水・環境に関するプログラムを開催する。
夏休みの恒例事業として定着し、子どもたちの自由研究の素材提供や学習機会として参加者からも好評のため、今年度は計 8 回を予定している。
<table>
<tr><th>事業内容</th><th>実施期日</th></tr>
<tr><td>雨と水のおもしろ実験＆アイディア工作
【講師】 齋藤賢之輔</td><td>7/21（祝）</td></tr>
<tr><td>ポリバケツで雨水タンクを作ろう
【講師】 雨水市民の会</td><td>7/26（土）</td></tr>
<tr><td>みなもとは雨！地球をめぐる水のふしぎ
【講師】 笹川みちる</td><td>7/27（日）</td></tr>
<tr><td>竹を使って雨水でっぽうを作ろう！
【講師】 伊藤林</td><td>7/27（日）</td></tr>
<tr><td>レインスティック作り～雨の音をかなでよう！
【講師】 小谷久美</td><td>8/2（土）</td></tr>
<tr><td>風力発電で電気をためよう
【講師】 蝦名晋一</td><td>8/3（日）</td></tr>
<tr><td>雨の恵みで草木染め～オリジナルハンカチをつくろう【講師】上鈴木真弓</td><td>8/9（土）</td></tr>
<tr><td>イチョウの木でバードコールをつくろう！
【講師】田之下雅之、溝口いづみ</td><td>8/17（日）</td></tr>
</table></td><td>26 年 7～8 月</td></tr>
</table>

次頁へつづく

<table>
<tr>
<td>雨の絵本ひろば</td>
<td>毎月第３日曜日に、年間１０回雨の絵本ひろばを開催し、１月と８月には絵本の整理を行う。
今年度は、蔵書リストを HP にアップし、おすすめ絵本なども順次紹介していく。

<table>
<tr><th>事業内容</th><th>実施期日</th></tr>
<tr><td>雨を楽しむ雨まつり
（電子紙しばいと雨つぶすごろくで遊ぼう）</td><td>6/15（日）</td></tr>
<tr><td>シャボン玉と水鉄砲で遊ぼう
（雨天時、紋切りと紙ひこうき作り）</td><td>7/20（日）</td></tr>
<tr><td>絵本整理</td><td>８月</td></tr>
<tr><td>大きなおいも（布の巻絵絵本のよみきかせ）
工作：野菜でぺったん</td><td>9/21（日）</td></tr>
<tr><td>収穫祭（よりどりミドリと合同）</td><td>10/26（日）</td></tr>
<tr><td>ふれあい館まつり参加</td><td>11/8（土）</td></tr>
<tr><td>クリスマスコンサート
（バイオリン演奏　笠井玉喜）</td><td>12/21（日）</td></tr>
<tr><td>絵本整理</td><td>１月</td></tr>
<tr><td>２～５月内容未定</td><td></td></tr>
</table>
</td>
<td>通　年</td>
</tr>
<tr>
<td>里いも
プロジェクト</td>
<td>ふれあい館で実施している里いも栽培のマニュアル化を図る。
ふれあい館のよりどりミドリプロジェクトと連動して実施。</td>
<td>通　年</td>
</tr>
</table>

３. すみだ環境ふれあい館の運営

事業名	事業内容	実施時期
すみだ環境 ふれあい館 の運営委託業務	従来通りの通常開館日における通常業務を滞りなく行うために尽力する。来館者への観覧応対、展示ガイド等の実施、展示物の維持管理、利用申請室の貸し出し等、派遣スタッフにより施設の通常運営全般を実施する。（月・水休館。ただし祝日は開館。） 来館者応対、常設展示・運営の改善、環境学習施設としてのプログラムの導入、企画展・イベントの開催などを行い、区内外から高い評価が得られるよう運営を推進する。 （墨田区から事業受託期間：平成 26 年４月～平成 27 年３月）	通　年

次頁へつづく

すみだ環境 ふれあい館 の運営委託業務	●H26 年度における主な特記事項 1）「よりどりミドリプロジェクト」： 例年好評の館の定番事業として、来館者と共に日々の雨水やりや生き物観察なども行いつつ、年間のシリーズ企画のさらなる充実を図る。 2）夏休み企画： 夏休み期間中の土日を中心に、「雨の恵みワークショップ」シリーズ等、予約制のプログラムを多面的に展開実施する。また期間中の平日にはより広い層に体験性を提供するショート・プログラムも実施する。 3）「ふれあい館まつり」（11 月初旬開催予定）： 昨年度の経験を踏まえ、実行委員会制で進めるこの事業に、館スタッフが実行委員として参画し、実務制作を担う。 4）企画展の制作・実施： ２回開催予定（区による予算措置なし）。区等との調整により実施の見込み。 5）施設の耐震補強工事に伴う展開： 区では次年度以降に耐震補強工事による改修を行う方向となっている。この動向を注視し、寄り添いながら、ふれあい館全体の発展・向上のためのより良い機会となることを目指す。 ●重点テーマ： 1）雨水活用の情報発信拠点として： 雨水利用促進法等の制定を踏まえ、雨水ミュージアムとしての価値を発揮していきたいが、展示物や設備の老朽化は否めず、メンテナンスや改修について区への働きかけを強める必要がある。 2）都市におけるエネルギー循環について考え、学ぶ学習拠点として： 雨水活用を筆頭に、昨今のエネルギー問題や、地球環境の保全に関わる情報を総合的に捉えた学習拠点として、今後もさらに情報の集積と発信・啓発に努める。 3）関野吉晴さんの探検資料室を併設する施設として： 唯一の関野氏の常設展示館としての魅力を広くアピールするとともに、展示の改訂・拡充に向けた発展的展開に努める。 4）学校教育現場との連携・アウトリーチ・事業展開： 昨年制作の「雨つぶぐるぐるすごろく」を用いた学校現場等での環境学習授業など、ふれあい館発のソフトの外部での実践や、その事業展開を計る。 5）館の利用率との向上と、ネットワークづくり： 雨水法等、今日の社会情勢等との接点を大切に、魅力的なプログラムの発出、広報等の効果的な展開等により、来館者や視察、事業への参加者・協力者のさらなる増加を目指す。またふれあい館まつり等で協働する団体等、館を活用するグループや団体を増やし、ふれあい館を核として区内外の企業・団体等がさらなるネットワークを広げるようなコーディネートに努める。 6）広報：チラシ、ウェブ等情報発信をより計画的に進め、確かな実績につなぐ。	通　年

4. 武蔵野市受託事業

<table>
<tr><th>事業名</th><th>事業内容</th><th>実施時期</th></tr>
<tr><td>武蔵野市
水環境連続講座
「水の学校」</td><td>H26 年度の市環境啓発事業の一環として、市民向け連続講座の企画・実施を受託。講座は「水の学校」と題し、暮らしの中の身近な水循環、下水道の役割や、水に親しみ、水を楽しむ知恵、そして世界規模の水課題、地球規模の水循環まで、水をとりまくさまざまなテーマを取り上げ、楽しみながら考えを深め、行動へつなげるシリーズ講座。
<table>
<tr><th>事業内容</th><th>実施期日</th></tr>
<tr><td>開校記念講演「世界の水、武蔵野の水」</td><td>7/12（土）</td></tr>
<tr><td>開校式「水の学校」とは？</td><td>7/12（土）</td></tr>
<tr><td>武蔵野市の水はどこから？</td><td>8/2（土）</td></tr>
<tr><td>見る・知る・ふれる下水道</td><td>9/6（土）</td></tr>
<tr><td>武蔵野市の水循環を考え、「環境フェスタ」で伝えよう</td><td>10/4（土）</td></tr>
<tr><td>環境フェスタブース出展～「水の学校」ってなあに？</td><td>10/19（日）</td></tr>
<tr><td>むさしのの今昔を巡る　～水のまちあるき</td><td>11/15（土）</td></tr>
<tr><td>ふり返りから今後のアクションへ・水からはじめよう！</td><td>12/13（土）</td></tr>
<tr><td>修了式・「水の学校」が考える水の未来</td><td>1/24（土）</td></tr>
</table></td><td>7 月～1 月</td></tr>
</table>

5. 企画事業

事業名	事業内容	実施時期
区内イベント出展	環境フェア、すみだまつり、ふれあい館まつりへの出展 パネル制作	26 年 6,10,11 月
エコプロダクツ展出展	エコプロダクツ展ＮＧＯブースに出展	26 年 12 月
雨水ネットワーク会議	福井大会への協賛、協力	26 年 8 月
勉強会開催	「雨水利用推進法、水循環基本法」セミナー開催事業（雨水ネットワーク会議）主催または開催補助	
地域活動	一言会との協働など、地域活動への参加協力	通　年
手作りタンク事業	雨水タンクづくりワークショップとして、ふれあい館の夏休みＷＳ、すみだ環境フェアおよび武蔵野市「水の学校」連続講座において実施、すみだまつりでの自立型緑のカーテンや雨水タンクの展示、およびエコプロダクツ展への出展を行う。 武蔵野市での手づくりタンクワークショップを通して、新たに雨水活用の意義を参加者に持っていただくとともに、担当者としての伝え方のノウハウの改良にも結び付ける。	

（第 4 号議案）　　平成 26 年度予算（案）

収支総括表

収入の部		支出の部	
◎会費収入		**◎総務費**	
正会員	600,000	家賃	600,000
個人賛助会員･学生会員 60	120,000	事務局人件費	960,000
団体会員　5件	150,000	事務管理費	300,000
購読会員･入会金等	20,000	通信費等	200,000
小計	**890,000**	振込手数料	50,000
◎事業収入		旅費交通費	50,000
WEB広告料	100,000	委員会開催費	50,000
啓発･環境学習等活動費	50,000	諸経費	100,000
環境ふれあい館委託料	5,925,000	小計	**2,310,000**
雨水ﾈｯﾄﾜｰｸ会議事務局運営委託	100,000	**◎事業費**	
武蔵野市受託事業	1,999,350	広報活動費	665,000
雨つぶ双六売り上げ	480,000	啓発･環境学習等活動費	830,000
映像ﾃﾞｰﾀ、資料等売上金	100,000	ふれあい館運営費	5,600,000
その他事業	800,000	企画事業	570,000
小計	**9,554,350**	武蔵野市受託事業	1,810,000
◎助成金・協賛金		その他事業活動費	50,000
（株）ライオンより協賛金	1,000,000		
その他助成金等	300,000	小計	**9,525,000**
小計	**1,300,000**	**未払い金**	**877,665**
◎寄付金		**当期支出合計**	**12,712,665**
寄付金、雑収入	200,000	**（収入－支出）**	**−768,315**
小計	**200,000**		
当期収入合計	**11,944,350**		
◎前年度繰越金		**◎次年度繰越金**	
前年度繰越金	**6,272,734**	次年度繰越金	**5,504,419**
総計	**18,217,084**	**総計**	**18,217,084**

収入の部

項目	26年度予算	25年度予算	増減	内容
◎会費収入				
正会員	600,000	600,000	0	正会員100×6000円
個人賛助会員・学生会員	120,000	120,000	0	賛助会員・学生会員40×3000円
団体会員	150,000	150,000	0	５社×30000円
購読会員・入会金等	20,000	20,000	0	新規正会員10×2000円
小計	**890,000**	**890,000**	0	
◎事業収入				
WEB広告料	100,000	100,000	0	WEBあまみず広告料
啓発・環境学習等活動費	50,000	50,000	0	参加費、材料費実費等
環境ふれあい館委託料	5,925,000	5,760,000	165,000	墨田区より委託料（480千円／月×12ケ月）
雨水ﾈｯﾄﾜｰｸ会議事務局運営委託	100,000	100,000	0	
武蔵野市受託事業	1,999,350	0	1,999,350	
雨つぶ双六売り上げ	480,000	0	480,000	
映像ﾃﾞｰﾀ、資料等売上金	100,000	100,000	0	写真使用料、書籍等販売収入
その他事業	800,000	600,000	200,000	雨活アイデアコンテスト監修、講師謝金、その他
小計	**9,554,350**	**6,710,000**	2,844,350	
◎助成金・協賛金				
協賛金	1,000,000	1,000,000	0	ライオン(株)より協賛金1,000千円
その他助成金	300,000	0	300,000	
小計	**1,300,000**	**1,000,000**	300,000	
◎寄付金				
寄付金、雑収入	200,000	200,000	0	
小計	200,000	200,000	0	
当期収入合計	**11,944,350**	**8,800,000**	3,144,350	
◎前年度繰越金				
定期預金	1,859,053	1,859,053	0	
普通預金	3,643,875	2,616,718	1,027,157	
郵便局振替口座	0	842,790	△ 842,790	
現金	118,450	33,172	85,278	
小口現金	47,656		47,656	
広報委員会通帳	503,700	592,111	△ 88,411	
未収金	100,000		100,000	
小計	**6,272,734**	**5,943,844**	328,890	
収入総計	**18,217,084**	**14,743,844**	3,473,240	

支出の部

項目	26年度予算	25年度予算	増減	内容
◎総務費				
事務局家賃	600,000	420,000	180,000	50千円×12月
事務局人件費	960,000	800,000	160,000	総務事務1名＋会計事務1名（@80000×12月）
事務管理費	300,000	150,000	150,000	消耗品、コピー使用料/PC買い換え
通信費等	200,000	200,000	0	電話代、インターネット
振込手数料	50,000	50,000	0	
旅費交通費	50,000	200,000	△150,000	
委員会開催費	50,000		50,000	
諸経費	100,000	100,000	0	雑費
小計	**2,310,000**	**1,920,000**	390,000	
◎事業費				
広報活動費	**665,000**	310,000	355,000	WEB管理、原稿謝礼等
雨つぶすごろく増刷費	200,000			1000セット
WEBあまみず取材費等	100,000			
WEBあまみず維持管理費	65,000			
リーフレット印刷	300,000			雨水散歩地図150千円、ガイドブック150千円
啓発・環境学習等活動費	**830,000**	1,410,000	△580,000	
夏休みWS	600,000			
雨の環境学習・雨塾	80,000			
絵本ひろば	100,000			
里芋プロジェクト	50,000			
ふれあい館運営費	**5,600,000**	5,500,000	100,000	スタッフ人件費（管理費は総務費に含む）
企画事業	**570,000**	300,000	270,000	
区内イベント出展費用	70,000			ふれあい館まつり等イベント4回
エコプロダクツ展出展	130,000			出展料80000円、諸経費
ネットワーク会議	200,000			全国大会協賛金100千円、旅費等
勉強会開催補助	50,000			
地域活動	50,000			
てづくりタンク事業	70,000			
武蔵野市受託事業	**1,810,000**			企画調整費400千円、講座実施費500千円、広報物、成果報告等制作費880千円、交通費等30千円
その他事業活動費	**50,000**	100,000	△50,000	
小計	**9,525,000**	**7,620,000**	1,905,000	
未払い金	**877,665**			
当期支出合計	**12,712,665**	**9,540,000**	3,172,665	
◎予備費（繰り越し）				
予備費	5,504,419	**5,203,844**	300,575	
支出総計	**18,217,084**	**14,743,844**	3,473,240	

（第 5 号議案）　　役員の選任

平成 25 年度末をもって役員の任期が満了となるため、下記の通り役員を選任したい。

理事	山本耕平（理事長）
	佐原滋元（副理事長）
	松本正毅（副理事長）
	高橋朝子（副理事長）
	伊藤　林（事務局長）
	柴　早苗
	安藤勝治
	大塚康三
	高原純子
	村瀬　誠
	山田和伸
	大西和也
	笠井利浩
	南　昌子
	笹川みちる
	谷口淳一
	小川幸正
監事	宗像信司
	宇田川隆男

新任・・**理事**：谷口淳一、小川幸正　　**監事**：宗像信司、宇田川隆男
退任・・**理事**：宗像信司　　**監事**：佐藤清、上林裕子
その他の理事は再任

理事長、副理事長、事務局長は理事選任案が承諾されたあと、理事会で選任する。

［参考：定款］
第 14 条　理事および監事は、総会において正会員から選任する。
２　理事長および副理事長は、理事の互選とする。